

平成24年度「学力向上フロンティア校」事業計画書

学校名	京都府立	海洋	高等学校
1 テーマ及び設定理由			
<p>〔テーマ〕「Be unique ! 海洋ならではの挑戦」 ～ 連携から貢献へ 活用と自己有用感をとおして磨く「質の高い学力」～</p> <p>〔設定理由〕 近畿唯一の水産・海洋系単独の専門高校である海洋高校の最大の強みは、「UNIQUE」(ユニーク、唯一、他にない)な教育活動にある。「学力向上フロンティア指定校」(H19・20・21)、文科省「目指せスペシャリスト指定校」(H21・22・23)で培った専門研究や地域・校種間連携を土台に、専門学科の研究・体験活動を推進し、身につけた知識や技術の活用を通して地域・社会に貢献する。そして、主体的行動を通して自己有用感と承認のうちにわき上がる「展望」「挑戦」「包み込まれているという感覚」を海洋生が実感する瞬間を実現することを念頭に、「ことばの力」を高めつつ、海洋ならではのUNIQUEな「キャリア教育」「シティズンシップ教育」を展開する。</p>			
2 23年度の成果と課題 ※継続校のみ記入			
3 24年度の到達(数値)目標			
<p>(1)「海洋サポーター」メンバー登録 50企業・団体 (2)「海洋ブランドUP」地産地消(地商)の製品開発5品 連携店舗拡大10店舗 売上額500万円 (3)「海洋生が先生」小・中学生キャリアプランニング・サポートの実施回数(30回500人) (4)「ことばの力」トライアル(HP発信100回・保護者携帯メール配信50回・海洋だより10回・新聞掲載50回) (5)プレゼン力向上(日本海南部地区高等学校水産教育研究協議会・生徒研究発表会での最優秀賞獲得) (6)公開研究成果発表会の開催(海洋・水産専門家、キャリア教育関係者を招待、評価を受ける) (7)就職内定率100%(1次選考内定率100%目標)、資格取得推進(教育長表彰受賞生徒67%以上) (8)WinWin/バンクボランティアの生徒参加率100%、生徒・保護者アンケートの自己評価満足度100%</p>			
4 事業概要【実施の時期、方法及び成果を測る方法など】			
<p>〔実施の時期、方法〕</p> <p>(1) < 挑戦する ! > ①「海洋ブランドUP」…海のリサイクルやエコ、食育、未利用資源を生かしたブランド力アップと6次産業化の推進。 ②「海洋生チャレンジショップ」…地域企業とのコラボで海洋ブランド製品の販売。 ③「海洋生レストラン」…海洋生1dayレストランを開店。(海洋生が漁獲・飼育した魚介類の地産地消(地商)) ④「海洋フェア」…実習製品や底曳き網漁獲鮮魚等の販売。(海洋市場をリニューアル) ⑤「海洋aquaria」…ミニ水族館の設置と、水産海洋研究成果や実習製品等を活用して博物館化。</p> <p>(2) < つながる ! > ①水産海洋関連機関(水産事務所、海洋センター、漁連等)の指導による研究活動推進やイベント参加でコラボ。 ②宮津市や観光協会、企業等とのコラボで、企業・店舗での海洋ブランド製品販売とインターンシップ、ジョブシャドウ。 ③阿蘇海協働会議(環境保全)をもとに、アサリ増殖・ヒトデ駆除・堆肥化研究や環境出前授業で地域に貢献。 ④他校専門学科とのUNIQUEコラボで府立専門学科の6次産業化の推進や企画力・プレゼン力の向上。 ⑤「お帰り先輩」…海洋高校での同窓会学校見学や講演、実技指導の実施やPTAコラボで海洋ブランドの開発と発信。 ⑥「海洋 WINWINバンク」…バンク登録生徒が生産・販売・ボランティア活動。生徒・学校・地域・企業のWIN・WIN。 ⑦「海洋サポーター」…連携の海洋・水産関係企業・団体等に海洋サポーターとして登録、連携協力を依頼。</p> <p>(3) < 展望する ! > ①「プロフェッショナル・プランニング」…海洋センター等のキャリアモデルによる指導で研究・専門職への道を展望。 ②「漁業土内弟子体験」…定置網・カキ種付け等で漁業土インターンシップ・ジョブシャドウ。 ③「小・中学生キャリアプランニング・サポート」…海洋生をキャリアモデルとした職業観・勤労観育成、学びの接続。</p> <p>(4) < キャリア・ベース・アップ > ①「ステップアップタイム」…海洋式ふり返りスタディ(毎朝始業前10分間に基礎力向上ドリル、資格学習、読書) ②「キャリア・トライアルウィーク」…専門学科の集中実習に加え、普通教科も職業観・勤労観の育成授業を実施。 ③「ことばの力」トライアル…生徒が体験活動や学習内容を文章化し、ホームページに掲載。「ことばの力」・ICT)向上 ④「キャリア・ライセンス・チャレンジ」…学科関連・非関連を問わず、資格取得数を増大。 ⑤「師力アップ研修」…関連機関への教員研修や新教育課程の検討で専門性と指導力を向上。</p> <p>〔成果を測る方法〕</p> <p>(1)生徒・保護者・海洋サポーター・教職員アンケートを踏まえた自己評価に加え、学校関係者評価や第三者評価を実施。 (2)連携の拡充状況。(海洋サポーターメンバー登録数、連携の回数、内容充実度で評価) (3)「ことばの力」トライアルによる取組情報発信。(新聞記事としての掲載状況 ホームページでの発信回数で評価) (4)水産・海洋系高校の研究大会における生徒のプレゼン力向上。(上位入賞を目指す) (5)資格取得状況や「海洋ブランド」(地産地消(地商)の製品開発と販売力(売り上げ)を評価。</p>			
5 取組・評価(自己・学校関係者・第三者)の公表計画【実施の時期、方法など】			
<p>(1)学校経営計画における計画や評価、連携機関や団体のアンケート結果をホームページで公表。(5月、11月、3月)。 (2)「京都府キャリア教育サポーター」等による学校視察と評価及び第三者評価の実施で教育活動の「質の向上」を推進。 (3)「ことばの力」トライアルにより、活動の様子と生徒文章をホームページで随時公表。 (4)研究成果発表会を公開実施し、「質の高い学力」に向けた取組成果を発信。「海洋ブランド」製品の展示、販売。 (5)「海洋だより」で中学生へ取組発信(丹後・中丹地区:毎月2回)と、学校見学会で実践内容を中学生や保護者等に紹介。</p>			
事業担当者職・氏名 教諭 上野憲史		経費担当者職・氏名 主事 松井 宏介	
電話番号 0772-25-0331		電話番号 0772-25-0331	